

2021年7月 熊本赤十字病院臨床治験審査委員会
【会議の記録の概要】

<p>開催日時 開催場所 出席委員名 欠席委員名</p>	<p>2021年07月06日 8時00分～ 8時25分 熊本赤十字病院 医薬品情報室 荒金 太、加島 雅之、大戸 雅史、伴 英樹、竹下 美子、井上 亜紀、松本 典子、松本 直幸 陣上 祥子</p>
<p>議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要</p>	<p>議題1. アレクシオンファーマ合同会社の依頼による血液凝固第Xa因子阻害剤の投与中に緊急手術を必要とする患者を対象としたandexanet alfaのオープンラベル試験 (整理番号:202107-1) ・治験の実施について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題2. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第2相無作為化、二重盲検試験 (整理番号:202107-2) ・治験の実施について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題3. 株式会社ファンペップの依頼による皮膚潰瘍患者を対象としたSR-0379の第3相試験 (整理番号:202107-3) ・治験の実施について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題4. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が保持された慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第Ⅲ相試験 (整理番号:201903-1) ・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題5. アツヴィ合同会社の依頼によるPhase 3 Safety and Efficacy Study of Upadacitinib in Subjects with Giant Cell Arteritis: SELECT-GCA 巨細胞性動脈炎患者を対象としたウパダシチニブの安全性及び有効性を検討する第Ⅲ相臨床試験: SELECT-GCA (整理番号:201901-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題6. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による腎移植患者を対象としたCFZ533の第Ⅱ相試験 (整理番号:201910-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験で用いる医療機器について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・プレフィルドシリンジの使用説明書、被験者自己投与記録、プレフィルドシリンジのトレーニング手順の追加について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題7. バイエル薬品株式会社の依頼による急性非心原性虚血性脳卒中発症後の患者を対象にBAY 2433334の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、用量設定第Ⅱ相試験 (整理番号:202003-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p>

- 議題8. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相無作為化、二重盲検試験
(整理番号:202007-1)
・治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題9. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相非盲検試験
(整理番号:202009-1)
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題10. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相二重盲検試験
(整理番号:202009-2)
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題11. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの安全性及び有効性評価を目的とした第3相、非盲検、多施設共同試験
(整理番号:202007-2)
・治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題12. ノーベルファーマ株式会社の依頼による NPC-21の第II相臨床試験
(整理番号:202012-1)
・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題13. キッセイ薬品工業株式会社の依頼によるMR13A9の既治療のそう痒症を有する血液透析患者を対象とした第III相臨床試験
(整理番号:202101-1)
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- 議題14. バイエル薬品株式会社の依頼による症候性子宮内膜症患者を対象としたP2X3拮抗薬(BAY 1817080)3用量の有効性と安全性を、プラセボ及びelagolix 150 mg投与と比較して評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照及び非盲検、実薬対照、並行群間、多施設共同、第IIb相試験
(整理番号:202102-1)
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認
- ・荒金 太委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題15. 武田薬品工業株式会社の依頼による小児活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたMLN0002の第3相試験
(整理番号:202105-2)
・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果:承認

	<p>議題16. 武田薬品工業株式会社の依頼による小児活動期クローン病患者を対象としたMLN0002の第3相試験 (整理番号:202105-3) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p>
特記事項	特になし